

# 図書だより

第64号  
令和4年3月3日  
呉工業高等専門学校  
図書館

<https://www.lib.kure-nct.ac.jp>



「母港」 撮影者：機械工学科2年 中尾 海人  
場 所：アレイからすこじま

## 目 次

・巻頭文 「本は新たな知識を生む」	..... 図書館長 及川栄作	2
・読書のすすめ 「「読む」という体験」	..... 人文社会系分野 福田 涼	3
「旅の友？読書の友？」	..... 自然科学系分野 小倉和幸	4
「苦手」	..... 電気情報工学分野 服部佑哉	5
・令和3年度推薦図書一覧	..... 図書館	6
・貸出回数上位ベスト20	..... 図書館	14
・編集後記		

## 巻頭文

## 本は新たな知識を生む

図書館長 及川 栄作

皆さんの本を読むきっかけとはどのようなものでしょう。宿題で読まなければならないくて、たまたま図書館や書店でタイトルが目に入って来て、新聞の新刊案内を見て、アマゾンで見て、YouTube で紹介されていたから等、きっかけは以前より多様化して来ていると思います。

私の本を読むきっかけはジャンルによっても様々ですが、ここでは専門書の話をしたと思います。一つのテーマでも書く人が違うと、A という人はある点を詳しく掘り下げて書いてあるが、B という人はある点を全く触れていない。ということがあります。そこで、最近著者の違う同じテーマで書いてある本を5冊程度読むことにしています。その結果、一冊目の本で理解しづらい場合に、二冊目の別の著者によって、違った表現で分かり易く書いてあることがあり、こういうことか。と分からなかったことが理解できた際は喜びを感じることもさえます。例えば、還元という化学反応において、還元する側、還元される側のどちらから説明するかにより、違いますし、対象とする化学物質によっても違う。取り分け私の扱っている抗酸化物質は化学構造が多様なので、様々な点から考察が必要です。エネルギーから説明すると更に多くのことを考えて解説しなければなりません。ここではこれ以上触れませんが、この還元について書いてある著者の本が最近の私の研究に役立ちました。なんと学校の図書館に20年前から置いてある本でした。この本は古い本ですが、今日ではあまり取り上げられていない化学反応をやさしい表現により図表を使って説明されていました。そこで、気づくのはやはり著者の専門分野ということがあります。そこで、今まで知りたかったことを詳しく書いてある著者の他の書籍はどのようなものだろう。更にもっと理解を深めることができるのではないかと。

この考えは、学生時代に論文を読んでいた際に身に着いた行動でもありますし、止めどなくどんどん読み進むことになり、著者がそのテーマを追求するに至った社会的背景や著者の生い立ちまで遡ることもあります。その著者がノーベル賞受賞者であれば、自叙伝もありますし、ジャーナリストなどが世界の競い合いの中で受賞者が如何にして一等賞をとったのかを調べて書いてある書籍も見つかります。例えば、窒素固定化法のハーバー・ボッシュ法開発者のハーバー博士の生い立ちや大戦に使う毒ガスの開発に至るまでの光と影について書かれた書籍があります。科学の発展と世界平和、人口増加と食糧問題や化石燃料の使用による地球温暖化、さらにハーバー研究室へ留学してアンモニア合成を勉強した邦人が、日本におけるアンモニア合成やアンモニアから水素を製造する技術開発へつながって行く。まだまだです、昨今の脱炭素社会実現に向けた燃料として利用するクリーンエネルギー開発の技術まで読み説くことができます。最先端の科学技術開発の説明は、それに至るその時々や科学者の思いについてストーリーを描くように理解することにより達成されます。

建築家の安藤忠雄氏は京都大学で使用されている教科書を何度も読んで独学により建築学を学んだそうです。私も自分の専門以外のことを勉強する時は、同じ本を何度も読むことにしています。何回も読んでいる内に理解できるようになり、新しい知識として見につきます。本は知識から新たな知識を生む、このことは聖書にも述べられていて、学生時代に大学の礼拝堂で聞いた牧師の語り、その語が刻まれた学び舎の彫刻の壁を思い出すものです。

## 読書のすすめ

## 【「読む」という体験】

人文社会系分野

福田 涼

アルベール・ティボーデは『小説の美学』（生島遼一訳、白水社、1940年）において、小説の読者を「普通読者」と「精読者」という二つの型に分類している。ティボーデによれば、レクトゥールが「小説に娯楽、清涼剤、日々の生活のちよつとした休息、さういふものしか求めない」人々であるのに対して、リズールは「文学といふもの」が「本質的な目的として実在する世界」、すなわち「人間の他の諸種の人生的目標と同じ深さをもつて全人間をとらへるものとして存在する領域に於て選ばれてゐる人達」として定位されるという。

こうした意味合いにおける「精読者」像を濫りに称揚することは、正直なところ、私自身の趣味には合わない。小説を「精読」ということは、作品から「人生的目標」や、それに類する「テーマ」（「メッセージ」と言い換えても良い）らしきものを発掘する（？）ことばかりを指すのであろうか。そして「いったい、内面に埋もれ、背後に隠された意味を読むことが「文学」だなどといつから本気で信じられてしまったのだろう」（蓮實重彦『夏目漱石論』福武文庫、1988年）。人々は作品の中から作家自身の「影」や「声」なるものを掴まえることに必死で、作品を構成している「言葉」そのものを、いとも容易く素通りする。小説をより豊かに「読む」上で最も重要なものは、おそらく「文学的」な「感性」（とは何か？）でも「真摯な態度」でもない。作中に張り巡らされた「言葉」の連鎖それ自体を拾い上げてゆこうとする「丁寧さ」こそが、われわれを「予定調和的」な読みの「制度」から解き放ち、そして「読む」という体験を、真に刺激的なものに変貌させるのである。

そもそも小説というものに触れる際、わざわざ襟を正して後生大事に読む必要はない、というのが私の考えである。私自身、ギュスターヴ・フローバール『感情教育』（太田浩一訳、光文社古典新訳文庫、上下巻、2014年、996頁）については非常勤先に向かう電車の中で、谷崎潤一郎『細雪』（中公文庫、1983年、936頁）に関しては自宅の浴槽に浸かりながら、それぞれ読んだ記憶がある。本校に着任してからは、電車が呉駅を発ち安芸阿賀駅に到着するまでの4分間で、どれだけ本を読み進めることができるか、様々なジャンルの書物を用いて試行している（平均して10頁前後というのが、現時点での結果である。『細雪』であれば、100日程度で読み終わる計算となる）。

ピエール・バイヤールによれば、「われわれはいまだ読書が神聖なものに見なされている社会に生きている」（『読んでいない本について堂々と語る方法』大浦康介訳、ちくま学芸文庫、2016年）。人々は「読みたい」から本を読むのではなく、「読まなければならぬ」という義務観念に使喚されて本を読むというのだ。「読書のすすめ」と題された本欄に文章を寄せるにあたっては、読書の効用を並べ立て、この「読まなければならぬ」という強迫観念を煽り立てる、という手段に走ることも考えられた。しかし、そうした「教条主義」的な物言いは、この場においては控えよう。小説が「娯楽」であろうと「清涼剤」であろうと、一向に構わぬ。「読む」という体験の前に十重二十重に立ちはだかる、「制度」や「義務観念」といった障壁<sup>ハードル</sup>を、いささかなりとも取り払うこと。それこそが、小文の企図するところであったのだから。

## 【旅の友？読書の友？】

自然科学系分野

小倉 和幸

「読書のすすめ」ということで、執筆の機会を頂きましたが、最近はずっかり本を読む機会が少なくなっている私です。本を読むことは好きなので、読みたい本を買ってはいるのですが、なかなか読む時間が取れず積読状態になってしまっています。

まあとにかく、今は本を読むことが好きな私ですが、もともとはそれほど本を読む方ではありませんでした。今研究している宇宙の他に、昆虫や淡水魚などに興味を持っていた私は、子どもの頃は文章を読むよりも図鑑などの写真を眺めることの方が多かったように思います。

本をたくさん読むようになったのは大学の卒業研究を始めてからでした。結構遅いですね。もちろん、自分の専門分野や興味に関する本は読んでいたのですが、読書をするにはあまり関心を持っていませんでした。卒業研究では、所属していた大学とは別の大学の天文台で、大きな望遠鏡を使った研究をさせてもらっており、週に何度か電車とバスを乗り継いで片道約2時間の道のりを通っていました。この移動の時間をより楽しむために、あるとき、思い立ってコンビニで小説を手にとってみたのが私の読書生活のはじまりです。何となく選んだ本でしたが、読み進めていくうちに夢中になり、それからは移動の時間が楽しみになっていました。ちなみに、この時に読んだ本がとてもよかったですので、当時使っていた某SNSで「とある作家のこの作品がとてもよかった」という趣旨の投稿をしたところ、なんとご本人から返信をいただけたという思い出もあります(笑)。

本を1冊読み切ると、また次に読む本を探すことになります。多くの場合は、以前読んだ作品の続編や、面白かった本の作者の別の作品を選びます。が、時々、タイトルだけで選んでみたり、表紙のデザインに目をひかれたものを読んでみたりすることもあります(天文学者なので、例えばタイトルに「星」とか「月」などの文字が入っているとつい手にとってみたくなります笑)。もちろん途中で読むのがしんどくなったり、自分には合わないと感じる作品もあつたりします。それもやはり、実際に読んでみないとわからないことですね。ジャンル問わず、いろいろな本を読むことで、今までは目を向けなかったものにも関心を持つようになったように思います。本を読むことでまた別の本を読みたくなる、という積み重ねでたくさん本を読むようになりました。

勉強にしても何にしてもそうですが、「まずはとにかく何か1つをやり遂げる」ということが大切だと私は考えています。読書では、何でもいから1冊読み切ってみるということですね。そうすることで、次々に読書が広がっていきます。そしてどんどん自分の世界が広がっている…ような気がしています。

数年前からは、徒歩通勤や車での移動が多くなり、電車やバスに乗ることはかなり少なくなりました。そんな中で、新型コロナウイルスが流行する前には、休日、数冊の本を購入して電車に乗り込んで、終点までひたすら本を読み続ける、という旅をよくしていました。終点まで行けば周辺を散策して、帰り道にはまた読書…という旅です。もともとは移動の時間を楽しむための読書だったのが、いつのまにか読書を楽しむために移動をするようになったのですね(笑)。

移動の時間に読書をしたり、読書をするために旅を試みたりと、私の読書生活には旅がつきものようです。旅の友が読書なのか、読書の友が旅なのか…

みなさんはどんな時に本を読んでいるのでしょうか?…とみなさんの歳の頃にはあまり本を読んでいなかった私が問いかけるのは変ですね(笑)。いつでもいいので、もし気が向いて、読んでみたいと思う本に出会ったら、ひとまずその本を手にとって読んでみてください。そうすると、あなたなりの読書生活がスタートする…かもしれません。

## 【苦手】

電気情報工学分野

服部 佑哉

高専の教員になってから、自分が高専生だった時のことを思い出す機会が増えました。僕は、それほど目立たず、活発でもなく、そこそこ真面目に授業を受けているにも関わらず、成績はそれほどよくない高専生でした。電気回路の授業では、不可Aという赤点を取ったことがあります。今ではその授業を教える立場にいます。当時は高専の教員になるなんてまったく考えていなかったのも、不思議な気分です。科目の内容を理解していないまま授業していると誤解されないように言い訳しておく、当時は全然理解できなかった授業でも、高専卒業後から今まで、たまたま工学の授業や研究に関わることが続いていたので、それなりに理解が進み、その上で、学生の皆さんに教えているつもりです。

当時を思い出しながら、当時の先生方と今の自分を比べることもあります。例えば、当時の先生は授業の準備はもっとしっかりしてたなとか、板書がきれいだったけど練習していたのだろうかとかです（僕は板書が苦手ですが、今はプロジェクタを使ってスライドで説明ができるから助かっています）。その中でも、当時の先生方は、学生に読書を勧めていて、自身でも本をよく読むと言っていたなというのがあります。僕は読書が苦手です。学生の僕は、読書が好きな人は知識が豊富で考えが深く、そのような人が高専の先生になるのかと思っていましたが、僕が高専の教員になったので、そうではないようです。

さて、僕は読書が苦手ですが、研究職・教職と呼ばれる職業に就いていましたので、教科書や研究に関連する参考書、そして、論文は読みます。これらの中で、アイデアが面白いと思うものはいくつもあり、このような本を読むことは、苦手ではありませんでした（難しい理論に対しては、理解するのが面倒くさいと思いますが）。このような書物でも読書になるのであれば、自分は読書をよくしますと言えるのですが、読書感想文を書く時の題材として、教科書や論文はNGになると思うので、きっとだめでしょう。

苦手の告白ついでにもう一つの苦手を言うと、僕は、人の名前と顔を覚えるのが苦手です。定期的に名前を口に出したり、本人を見る機会が多いと流石に覚えてくるのですが、最近では皆さんマスクを付けていたり、遠隔授業で顔が見えなかったりで、なかなか覚えられません。教員という立場ではよくない苦手なので、いつかAIで顔認識して名前などの情報を教えてくれるサポートデバイスを作りたいと考えています。読書が苦手なもの、登場人物を覚えられず、なかなか読み進められないからです。特に登場人物が多く、長編の本は読み進めることが出来ませんでした。僕が学生の頃にハリーポッターシリーズが流行しましたが、残念ながら読んでいません。一方で、読書が大事という認識はあるので、定期的に本を読もうとはしています。

実は、アイデアや内容が面白く、登場人物が少なくて話が短い、僕のような人向けの小説があります。ショートショートと呼ばれる短編形式の小説です。ショートショートを語れるほど造詣が深くないのですが、本だと、星新一が著者のきまぐれロボットが好きです。本のタイトルはきまぐれロボットですが、きまぐれロボットという話の他に、30以上の話が収録されています。登場人物の名前はエフ氏だったりエヌ氏だったり、男だったり主人だったり、とても覚えやすく、1話完結で、その人物をずっと覚えている必要もありません。話の内容は、ミステリーやSFが多い印象で、最後にどんでん返しとなるような展開もよくあります。また、最近だと、140字の文字数制限のあるTwitter小説というのもあり、面白いアイデアが凝縮されていて、僕にとってはとても読みやすいです。もし苦手分野が僕と同じであれば、試しに読んでみてはどうでしょうか。



## 令和3年度推薦図書一覧

図書館では、本校で働く教職員から、学生に読んでもらいたい、読んでおくとよい図書や、在学中に取得を奨励する資格関係の図書、就職や編入学等進路に関する図書等の推薦を広く募集し、配架図書の充実に努めております。

今年度は2回の推薦公募を行い、以下の図書を配架しておりますので、ご紹介します。

窓口カウンターの向かい側に、推薦図書コーナーを設けておりますので、ぜひ手に取ってみてください。



推薦図書コーナー

### 第1次推薦図書（令和3年度上半期）

プラダを着た悪魔 再改訂版（スクリーンプレイ・シリーズ）

亀山太一（監修）、柴田純子（翻訳）、久米和代（翻訳）【フォーインスクリーンプレイ事業（2018）】

『ローマの休日』を観るだけで英語の基本が身につく DVDブック（映画観るだけマスターシリーズ）

藤田英時（著）【アスコム（2016）】

CD付ディズニーの英語 [コレクション8 美女と野獣]

石原真弓【KADOKAWA/中経出版（2015）】

『ふしぎの国のアリス』を観るだけで英語の基本が身につく DVDブック（映画観るだけマスターシリーズ）

藤田英時（著）【アスコム（2017）】

これから論文を書く若者のために 究極の大改訂版  
酒井聡樹【共立出版（2015）】

これからレポート・卒論を書く若者のために（第2版）

酒井聡樹【共立出版（2017）】

これから学会発表する若者のために 第2版 —ポスターと口頭のプレゼン技術

酒井聡樹【共立出版（2018）】

世界で一番やさしい 資料作りの教科書

榊巻亮【日経BP（2019）】

なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか?: 小さな力で大きく動かす! システム思考の上手な使い方

枝廣淳子, 小田理一郎【東洋経済新報社（2007）】

「アンコンシャス・バイアス」マネジメント 最高のリーダーは自分を信じない

守屋智敬【かんき出版（2019）】

後悔しない「産む」×「働く」

齊藤英和 (著), 白河桃子 (著)【ポプラ新書(2017)】

男性も女性も知っておきたい 妊娠・出産のリテラシー

宋美玄 (著), 白河桃子 (著), 岡田弘 (著), 前田恵理 (著), 杉本公平 (著), 小橋元 (著), 鴨下桂子 (著), 須賀万智 (著), 武藤香織 (著), 安藏伸治 (著), 牧本真由美 (著), 齊藤英和 (編集), 杉森裕樹 (編集)【大修館書店 (2018)】

戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方—エコとピースのオルタナティブ

田中優【合同出版 (2005)】

炎上CMでよみとくジェンダー論

瀬地山角【光文社 (2020)】

夜を乗り越える

又吉直樹【小学館 (2016)】

私とは何か「個人」から「分人」へ

平野啓一郎【講談社 (2012)】

部長、その恋愛はセクハラです！

牟田和恵【集英社 (2013)】

はじめて学ぶLGBT-基礎からトレンドまで

石田仁【ナツメ社 (2019)】

女ざらい ニッポンのミソジニー

上野千鶴子【朝日新聞出版 (2018)】

動物化するポストモダン-オタクから見た日本社会

東浩紀【講談社 (2001)】

専門知は、もういらぬのか-無知礼賛と民主主義

トム・ニコルズ, 高里ひろ (訳)【みすず書房 (2019)】

言語人類学への招待

井出里咲子, 砂川千穂, 山口征孝【ひつじ書房(2019)】

数理言語学事典

島山雄二【産業図書 (2013)】

翻訳の原理：異文化をどう訳すか

平子義雄【大修館書店 (1999)】

言語はなぜ哲学の問題になるのか

イアンハッキング【勁草書房 (1989)】

「視点」の違いから見る 日英語の表現と文化の比較

尾野治彦【開拓社 (2018)】

日本語を翻訳するという事：失われるもの、残るもの

牧野成一【中央公論新社 (2018)】

「する」と「なる」の言語学—言語と文化のタイポロジーへの試論

池上嘉彦【大修館書店 (1981)】

英語の発想

安西徹雄【筑摩書房 (2000)】

世界制作の方法

ネルソングッドマン【筑摩書房 (2008)】

翻訳とはなにか—日本語と翻訳文化

柳父章【法政大学出版会 (2003)】

言語・思考・現実

ベンジャミンリーウォーフ【講談社 (1993)】

英語教師のための第二言語習得論入門

白井恭弘【大修館書店 (2012)】

日本語文法の形式理論 - 活用体系・統語構造・意味合成

戸次大介【くろしお出版 (2010)】

木を見る西洋人 森を見る東洋人思考の違いはいかにして生まれるか

リチャードEニスベット【ダイヤモンド社 (2004)】

認知と言語：日本語の世界・英語の世界

濱田英人【開拓社 (2016)】

声の文化と文字の文化

ウォルターJ オング【藤原書店 (1991)】

よくわかる英語教育学

鳥飼玖美子, 鈴木希明, 綾部保志, 榎本剛士【ミネルヴァ書房 (2021)】

『象は鼻が長い』入門—日本語学の父 三上章  
庵功雄【くろしお出版 (2003)】

数の発明—私たちは数をつくり、数につくられた  
ケイレブエヴェレット【みすず書房 (2021)】

PyTorch 実践入門—ディープラーニングの基礎から  
実装へ  
Eli Stevens, Luca Antiga, Thomas Viehmann (著),  
後藤勇輝, 小川雄太郎, 櫻井亮佑, 大串和正 (訳)  
【マイナビ出版 (2021)】

PyTorch と fastai ではじめるディープラーニング  
—エンジニアのためのAI アプリケーション開発  
Jeremy Howard (著), Sylvain Gugger (著), 中田秀  
基 (翻訳)【オライリージャパン (2021)】

闇を裂く道 新装版  
吉村昭【文藝春秋 (2016)】

学びを結果に変えるアウトプット大全  
樺沢紫苑【サンクチュアリ出版 (2018)】

賢者の書 新装版  
喜多川泰【ディスカヴァー・トゥエンティワン  
(2009)】

自重筋トレ100の基本  
比嘉一雄【榎出版社 (2013)】

哲学大図鑑  
ウィルバッキンガム【三省堂 (2012)】

科学大図鑑  
アダムハート=デイヴィス【三省堂 (2018)】

世界史大図鑑  
グラントレグ (ほか著)【三省堂 (2019)】

心理学大図鑑  
キャサリン・コーリン【三省堂 (2013)】

世界文学大図鑑  
ジェイムズ・キャントン【三省堂 (2017)】

社会学大図鑑  
クリストファーソープ【三省堂 (2018)】

経済学大図鑑  
ナイアル・キシテイニー【三省堂 (2014)】

経営学大図鑑  
イアン・マルコース【三省堂 (2015)】

政治学大図鑑  
ポール・ケリー【三省堂 (2014)】

集合住宅30講  
植田実【みすず書房 (2015)】

エスキスって何？  
小川真樹, 地引重巳, ジェームスランビアーシ【彰  
国社 (2019)】

復興を実装する—東日本大震災からの建築・地域  
再生  
小野田泰明 (著), 佃悠 (著), 鈴木さち (著)【鹿島  
出版会 (2021)】

建築家と共創する病院づくり—対話が生む成長と変  
化に対応できる医療施設  
近藤彰宏 (著), 大守昌利 (著)【日本医療企画  
(2021)】

別冊太陽スペシャル 日本の住宅100年 新刊 語  
り継ぎたい、わたしの「家」の話  
別冊太陽編集部【平凡社 (2021)】

人新世の「資本論」  
斎藤幸平【集英社 (2020)】

スマホ脳  
アンデシュ・ハンセン【新潮新書 (2020)】

百戦練磨の台所  
中村好文【学芸出版社 (2020)】

空間のちから  
内藤廣【王国社 (2021)】

クロノデザイン 空間価値から時間価値へ  
内藤廣【彰国社 (2020)】

建築家へなりたい君へ  
隈研吾【河出書房新書 (2021)】



**建築模型アイデア図鑑**

矢作昌生 (ほか) 【学芸出版社 (2021)】

**やぶからし**

山本周五郎 【新潮社 (2004)】

**赤ひげ診療譚**

山本周五郎 【新潮社 (2019)】

**栄花物語 53刷改版**

山本周五郎 【新潮社 (2019)】

**貝に続く場所にて**

石沢麻依 【講談社 (2021)】

**彼岸花が咲く島**

李琴峰 【文藝春秋 (2021)】

**テスカトリポカ**

佐藤究 【KADOKAWA (2021)】

**星落ちて、なお**

沢田瞳 【文藝春秋 (2021)】

**やさしい英語でSDGs!:地球の課題(Global issues)  
を英語で学び、未来を語ろう! ♪リスニング音声デ  
ータ付き**

山本ミッシェールのぞみ 【合同出版 (2021)】

**WE HAVE A DREAM 201 カ国202 人の夢×SDGs**

WORLD DREAM PROJECT 【いろは出版 (2021)】

**The Little Book of Hygge: The Danish Way to Live  
Well**

Meik Wiking 【Penguin UK (2016)】

**チャレンジ! 多文化体験ワークブック: 国際理解  
と多文化共生のために**

村田晶子 (ほか) 【ナカニシヤ出版 (2019)】

**ハーバードの人生を変える授業**

タル・ベン・シャハー 【大和書房 (2015)】

**バイリンガル版 君の名は。1**

琴音らんまる (ほか) 【KADOKAWA (2018)】

**バイリンガル版 君の名は。2**

琴音らんまる (ほか) 【KADOKAWA (2018)】

**バイリンガル版 君の名は。3**

琴音らんまる (ほか) 【KADOKAWA (2018)】

**ITナビゲーター2021年版**野村総合研究所 ICTメディア・サービス産業コンサル  
ティング部 【東洋経済新報社 (2021)】**防災ハンドメイド—100均グッズで作れちゃう!**

辻直美 【KADOKAWA (2021)】

**女帝小池百合子**

石井妙子 【文藝春秋 (2020)】

**老いる意味**

森村誠一 【中央公論新社 (2021)】

**1%の努力**

ひろゆき 【ダイヤモンド社 (2020)】

**ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー  
ブレンディみかこ**

ブレンディみかこ 【新潮社 (2019)】

**てんげんつう**

島中恵 【新潮社 (2019)】

**土葬の村**

高橋繁行 【講談社 (2021)】

**ざんねんな日本のものづくり—ゼロからの知財戦略**

日本知財標準事務所 【総合法令出版 (2021)】

**これだけ数学 改訂新版 (電験3種 New これだけシ  
リーズ)**

石橋千尋 【電気書院 (2019)】

**これだけ法規 改訂3版 (電験3種 New これだけシ  
リーズ)**

時井幸男 【電気書院 (2019)】

**これだけ電力 改訂2版 (電験3種 New これだけシ  
リーズ)**

山口隆弘, 石橋千尋 【電気書院 (2019)】

**これだけ理論 改訂2版 (電験3種 New これだけシ  
リーズ)**

石橋千尋 【電気書院 (2019)】

これだけ機械 改訂2版 (電験3種 New これだけシリーズ)

深見正【電気書院 (2019)】

電験第3種スイスイわかる 理論 第2版

酒井忍【電気書院 (2016)】

電験第3種スイスイわかる 電力 第2版

跡部康秀【電気書院 (2017)】

電験第3種スイスイわかる 機械 第2版

安東憲二【電気書院 (2018)】

電験第3種 スイスイわかる法規 第2版

出村俊博【電気書院 (2011)】

みんなが欲しかった! 電験三種 合格へのはじめの  
一歩 第2版 (みんなが欲しかった! はじめの一歩  
シリーズ)

TAC 出版開発グループ (編著)【TAC 出版 (2020)】

みんなが欲しかった! 電験三種 理論の教科書&問  
題集 第2版 (みんなが欲しかった! 電験三種シリ  
ーズ)

TAC 出版開発グループ (編著)【TAC 出版 (2020)】

みんなが欲しかった! 電験三種 電力の教科書&問  
題集 第2版 (みんなが欲しかった! 電験三種 シリ  
ーズ)

TAC 出版開発グループ (編著)【TAC 出版 (2020)】

みんなが欲しかった! 電験三種 機械の教科書&問  
題集 第2版 (みんなが欲しかった! 電験三種シリ  
ーズ)

TAC 出版開発グループ (編著)【TAC 出版 (2020)】

みんなが欲しかった! 電験三種 法規の教科書&問  
題集 第2版 (みんなが欲しかった! 電験三種シリ  
ーズ)

TAC 出版開発グループ (編著)【TAC 出版 (2020)】

最短突破ディープラーニングG検定 (ジェネラリス  
ト) 問題集

高橋光太郎, 落合達也 (著)【株式会社技術評論社  
(2020)】

いちばんわかりやすい!2級建築施工管理技術検定  
合格テキスト

コンデックス情報研究所 (編・著)【成美堂出版  
(2019)】

インテリアプランナー ガイドブック 学科試験編  
(改訂版)

日本インテリアプランナー協会【日本インテリアプ  
ランナー協会 (2020)】

## 第2次推薦図書 (令和3年度下半期)

地域モビリティの再構築

家田仁, 小嶋光信【薫風社 (2021)】

シン・ニホン

安宅和人【NewsPicks パブリッシング (2020)】

世界初は「バカ」がつくる「バカ」の育ち方があり  
ます

生田幸士【さくら舎 (2019)】

有機反応機構 酸・塩基からのアプローチ

奥山格【東京化学同人 (2020)】

有機反応機構 有機反応を深く理解するために

奥山格【丸善出版 (2017)】

抗酸化の科学: 酸化ストレスのしくみ・評価法・予  
防医学への展開

河野雅弘(編)【化学同人 (2019)】

進化する燃料電池・二次電池 ー反応・構造・製造  
技術の基礎と未来社会を支える電池技術ー (最近  
の化学工学67

化学工学会エネルギー部会(編)【化学工学会関東支  
部 (2019)】

全固体電池の入門書 ー次世代リチウムイオン電池ー  
(エンジニア入門シリーズ)

金村聖志【科学情報出版 (2020)】

ミトコンドリアを活性化するとがん細胞は自滅する

福田一典【彩図社 (2017)】

カーボンニュートラル実行戦略:電化と水素、アンモニア

戸田直樹【エネルギーフォーラム (2021)】

都市建築 TOKYO——超高層のあけぼのから都市再生前夜まで

都市建築 TOKYO 編集委員会 (著, 編集)【鹿島出版会 (2021)】

京都 近現代建築ものがたり

倉方俊輔【平凡社 (2021)】

建築の難問——新しい凡庸さのために

内藤廣【みすず書房 (2021)】

世界の名建築歴史図鑑

五十嵐太郎【エクスナレッジ (2021)】

FACTFULNESS—10の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣

ハンス・ロスリン【日経BP (2019)】

はじめての Autodesk Revit & Revit LT

小林美砂子(ほか2名)【X-knowledge (2020)】

AutoCADで3D攻略読本

鳥谷部真【X-knowledge (2020)】

内定童貞

中川淳一郎【星海社 (2015)】

自己実現という罠—悪用される「内発的動機づけ」

榎本博明【平凡社 (2018)】

PowerPoint 資料作成 プロフェッショナルの大原則

松上純一郎【技術評論社 (2019)】

宮本常一と民俗学(日本の伝記 知のパイオニア)

森本孝【玉川大学出版部 (2021)】

軍港都市の150年

上杉和央【吉川弘文館 (2021)】

エアリアルノベーション 変化の構造とローカライズ

馬場正尊, +Open A (編著)【学芸出版社 (2016)】

まちの価値を高めるエリアマネジメント

小林重敬(ほか編著)【学芸出版社 (2018)】

原爆スラムと呼ばれたまち—ひろしま・基町相生通り

石丸紀興(ほか)【あけび書房 (2021)】

設計のための建築環境学 第2版

日本建築学会(編)【彰国社 (2021)】

連続群論の基礎(基礎数学シリーズ)

村上信吾【朝倉書店 (2019)】

等長地図はなぜできない:地図と石鹸膜の数学

西川青季【日本評論社 (2014)】

幾何学いろいろ—距離と合同からはじめる大学幾何学入門

井ノ口順一【日本評論社 (2007)】

全ての概念はKan 拡張である

alg-d【Independently published (2021)】

見える!群論入門

脇克志【日本評論社 (2017)】

球面調和関数と群の表現

野村隆昭【日本評論社 (2018)】

組合せ論の発見:古代から現代

Robin Wilson, John J. Watkins, 高瀬正仁, 平坂貢【共立出版 (2021)】

場の量子論:不変性と自由場を中心にして

坂本真人【裳華房 (2014)】

コンピュータと数学(現代基礎数学)

高橋正子【朝倉書店 (2016)】

曲率とトポロジー:曲面の幾何から宇宙のかたちへ

河野俊丈【東京大学出版会 (2021)】

岡理論新入門:多変数関数論の基礎

野口潤次郎【裳華房 (2021)】

群の表現論序説

高瀬幸一【岩波書店 (2013)】

## 光の数理

左貝潤一【コロナ社 (2021)】

## 入門 現代の量子力学 量子情報・量子測定を中心として

堀田昌寛【講談社 (2021)】

## 新装版 統計力学入門 愚問からのアプローチ

高橋康, 柏太郎【講談社 (2021)】

## 有限体と代数曲線

諏訪紀幸【朝倉書店 (2021)】

## 代数方程式のはなし

今野一宏【内田老鶴圃 (2014)】

## みんなの圏論: 演習中心アプローチ

D. Spivak, 川辺治之【共立出版 (2021)】

## シンガポールを知るための65章【第5版】(エリア・スタディーズ17)

田村慶子【明石書店 (2021)】

## モンゴル語のしくみ(新版)

温品廉三【白水社 (2021)】

## オードリー・タンの思考 IQよりも大切なこと

近藤弥生子【ブックマン社 (2021)】

## パーパス・ブランディング 「何をやるか?」ではなく、「なぜやるか?」から考える

齊藤三希子【宣伝会議 (2021)】

## 1秒で刺さる書き方 伝わらない文章を劇的に変える68の方法

中谷彰宏【ユサブル (2018)】

## 秒で伝わるパワポ術 仕事でも SNS でも〈いいね〉がもらえるスライド作成のコツ

豊間根青地【KADOKAWA (2021)】

## 自由の哲学者カント カント哲学入門「連続講義」

中山元【光文社 (2013)】

## Q・次の2つから生きたい人生を選びなさい ハーバードの人生を変える授業2

タル・ベン・シャハー【大和書房 (2016)】

## 人生を変えるメンターと出会う法~自分の磨き方、高め方

本田健【大和書房 (2015)】

## 謙虚なリーダーシップ——1人のリーダーに依存しない組織をつくる

エドガー・H・シャイン (ほか)【英治出版 (2020)】

## ファシリテーションの技法: アクティブ・ラーニング時代の造形ワークショップ

高橋陽一【武蔵野美術大学出版局 (2019)】

## 「すぐやる人」と「やれない人」の習慣

塚本亮【明日香出版社 (2017)】

## 爆笑テストの珍回答傑作選

鉄人社編集部【鉄人社 (2020)】

## USJを劇的に変えた、たった1つの考え方

森岡毅【角川書店 (2016)】

## すごすぎる天気の本鑑

荒木健太郎【KADOKAWA (2021)】

## 不安と折り合いをつけて うまいこと老いる生き方

中村恒子, 岡田弘美【すばる舎 (2021)】

## [新版] 日本国紀 &lt;上&gt;

百田尚樹【幻冬舎 (2021)】

## [新版] 日本国紀 &lt;下&gt;

百田尚樹【幻冬舎 (2021)】

## 公式TOEIC® Listening &amp; Reading 問題集 8—音声 CD2枚付

ETS【国際ビジネスコミュニケーション協会 (2021)】

## 詳解 2級土木施工管理技術検定過去6回問題集 '21年版

コンデックス情報研究所【成美堂出版 (2021)】

## 2021年版 2級土木施工 第1次&amp;第2次検定 徹底図解テキスト

土木施工管理技術検定試験研究会【ナツメ社 (2021)】

## 地方上級 教養試験 過去問500 2022年度 (公務員試験 合格の500シリーズ6)

資格試験研究会【実務教育出版 (2021)】

土木職公務員試験 専門問題と解答 必修科目編 第5版

米田昌弘【大学教育出版（2020）】

土木職公務員試験 専門問題と解答 選択科目編

米田昌弘【大学教育出版（2021）】

地方上級 専門試験 過去問 500 2022 年度（公務員試験 合格の500 シリーズ7）

資格試験研究会【実務教育出版（2021）】

公務員試験 地方上級 教養試験問題集 2021 年度（試験別問題集シリーズ2）

資格試験研究会【実務教育出版（2019）】

土木技術検定試験 問題で学ぶ体系的知識 改訂版

土木学会技術体系化研究会（編）【ぎょうせい（2019）】



# 貸出回数上位ベスト20

順位	題名	著者	回数
1	3級機械設計技術者試験過去問題集	日本機械設計工業会	18
2	編入数学徹底研究: 大学編入試験対策: 頻出問題と過去問題の演習	桜井基晴	15
3	大学編入のための数学問題集	碓氷久 (ほか)	12
4	TOEIC L&R テスト文法問題でる 1000 問	TEX 加藤	11
4	よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑	大野萌子	11
6	伝熱工学	庄司正弘	10
6	よくわかる電磁気学	前野昌弘	10
6	編入数学過去問特訓: 大学編入試験対策: 入試問題による徹底演習	桜井基晴	10
6	公式 TOEIC listening & reading 問題集 1-8	ETS	10
10	機械設計技術者のための基礎知識: 機械設計技術者試験準拠 第6版	機械設計技術者試験研究会	9
10	機械設計技術者のための基礎知識: 機械設計技術者試験準拠 第9版	機械設計技術者試験研究会	9
10	52 ヘルツのクジラたち	町田そのこ	9
13	「育ちがいい人」だけが知っていること	諏内えみ	8
13	編入数学徹底研究 : 頻出問題と過去問題の演習	桜井基晴	8
13	琥珀の夏	辻村深月	8
16	キーポイント多変数の微分積分	小形正男	7
16	Junya Ishigami : small images	石上純也	7
16	1 駅 1 題新 TOEIC TEST 文法特急	花田徹也	7
16	一億人の英文法: すべての日本人に贈る: 「話すため」の英文法	大西泰斗, ポール・マクベイ	7
16	マスカレード・ナイト	東野圭吾	7
16	公式 TOEIC listening & reading 問題集 7	ETS	7
16	推し、燃ゆ	宇佐見りん	7

(調査対象期間: 令和3年4月1日~令和4年2月18日)

## 【表紙写真撮影者コメント】

呉に「護衛艦かが」が帰ってきているという話を聞き、友人と見に行った際に撮りました。  
予想以上に多くの艦が集結していたので感動しました。

(機械工学科2年 中尾 海人)

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響で開館時間の変更や、座席の利用制限等で利用される学生・教職員の皆様にご不便をおかけしてしまう1年でした。また、ブックハンティングも緊急事態宣言の発令を受け実施することが出来ませんでした。来年こそは、新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、通常運用にもどせるよう努めてまいります。